

平面で見えない魅力を 立体で捕まえる

～釧路市の景観を立体マップで捉える～



北海道 釧路市 都市計画課

1.はじめに

釧路市の概要

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「釧路湿原」「阿寒摩周」の2つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、東北北海道の中核・拠点都市として社会、経済、文化の中心的な機能を担っている。

人口:165,077人(令和2年国勢調査より)

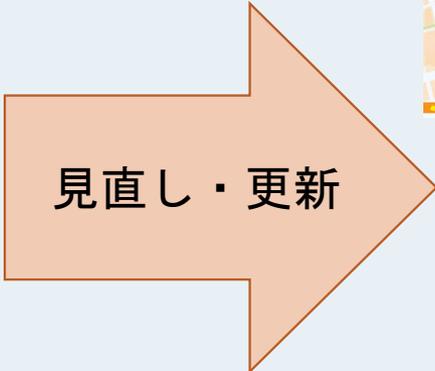
面積:1,363.26km²(令和5年全国都道府県市区町村別面積調より)

主な産業:水産業など



2. 釧路市景観まち歩きマップ

釧路市景観まち歩きマップは、平成4年～平成24年までに実施した「釧路市景観賞」を受賞した北大通周辺の建築物などを紹介している。
平成30年に都市計画課で作成し、令和5年に見直しと更新を行った。



まち歩きマップ (H30)



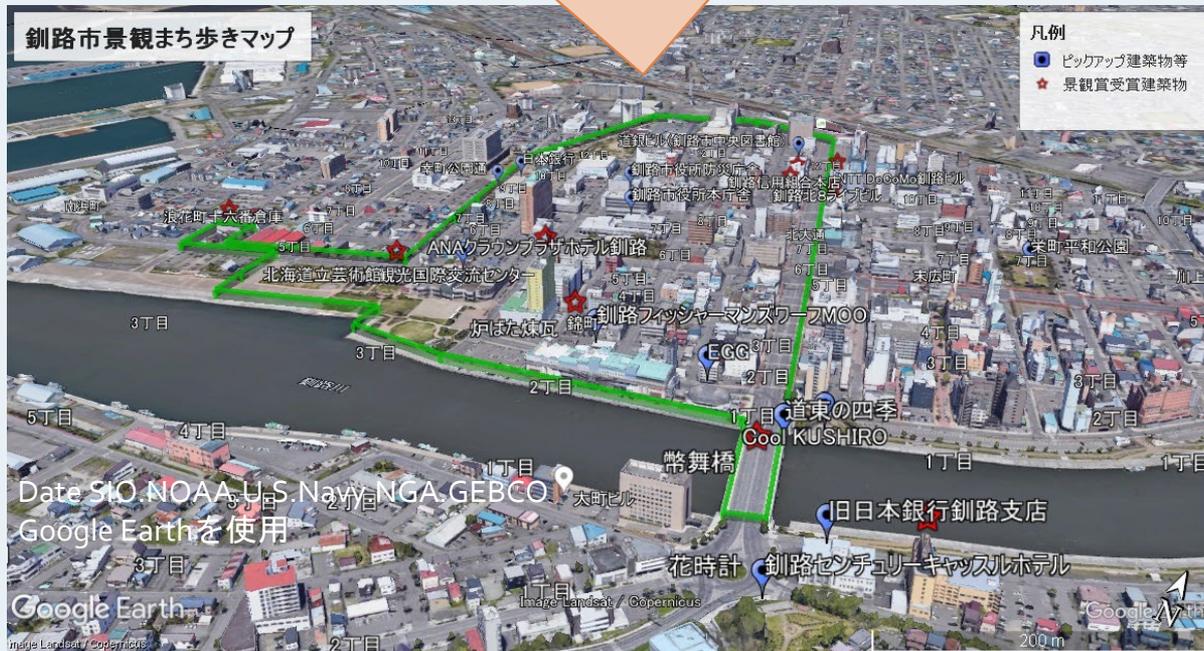
まち歩きマップ (R05)

3.まち歩きマップの立体化

QGISを用いてまち歩き経路（緑色の線）を引き、ピンを置いた。



まち歩きマップ（裏面）



Google Earthにまち歩きマップの情報を反映し立体化する

立体化したまち歩きマップ

4.街歩きマップの3D化

ピンをクリックすると建物の紹介文を見ることができる。

釧路市景観まち歩きマップ

凡例

- 📍 ピックアップ建築物等
- ★ 景観賞受賞建築物

幣舞橋

賞歴: 【特別賞】第10回(平成16年)

一世紀以上にわたり釧路の歴史を見守っている名橋であり、現在の5代目幣舞橋には、市民の提案により彫像「道東の四季」が設置されている

経路: [到着地点](#) - [出発地点](#)

Date SIO.NOAA.U.S.Navy.NGA.GEBCO
Google Earthを使用

Google Earth

5.活用に向けて

まち歩きマップの立体化について情報共有

担当者内の意見

○紙面では表現できない建物の高さ・建物の並び等が**可視化**され、街の景色が直接頭に入ってくるやすい。

○出前講座等で**まち歩きマップを紹介する際に使えそう**。

○庁内のインターネットは中間サーバーを経由しているため、Google Earthを使うのは難しいと思う。



担当者内での打ち合わせの様子

6.活用に向けて

活用に向けての利点・課題

景観まち歩きマップを初めて見る人にとっては、いまいち釧路市の景観のイメージがしにくいと思われる。

出前講座（右写真）ではまち歩きマップの紹介もしている。立体化したまち歩きマップを用いることができれば、生徒から興味・関心を引き出すことができそうだ。

しかし、庁内のインターネットは中間サーバーを経由しており、デスクのPCからはGoogle Earthが使用できない。

そのため、データ作成のハードルが高い。



都市計画課では、毎年中学生へ向けての出前講座を行っている。

北海道釧路市



幣舞橋からの夕日



霧氷のボッケと雌阿寒岳



霧フェス



勝手井